



【編集・発行】2019年2月1日161号  
世田谷・生活者ネットワーク 代表/山木きょう子  
〒154-0017東京都世田谷区世田谷1-16-16 安藤ビル301  
TEL: 03-3420-0737 FAX: 03-3706-1744  
【e-mail】setagaya@seikatsusha.net  
【URL】http://setagaya.seikatsusha.me

生活者  
せたがや No.161

ひとりにはない  
子育て・  
介護  
介護

世田谷・生活者ネットワーク  
政策委員

## 子どもの笑顔を守りたい! 安心して暮らせる 社会は食と環境から

# 金井 えり子

世田谷・生活者ネットワーク

### Profile-プロフィール-

1964年 杉並区生まれ  
1982年 目黒星美学園高等学校卒業  
1984年 日本獣医畜産大学 中退  
1984~92年 櫛こぐま座 着ぐるみアクター・司会のお姉さん  
1992~97年 ブライダル・イベント等司会  
2001~03年 劇団ひなたぼっこ 制作・MC  
2004年~ 俺ちよこグループ MC講師  
2011~14年 23区南生活クラブ生協理事  
2014~18年 23区南生活クラブ生協監事  
2014年~ NPO法人コンチェルティーン/監事

【家族】夫、娘1人、息子1人、猫一匹  
小学校や図書館などで読み聞かせボランティアもしている。  
太子堂5丁目在住。

私は、子どもの笑顔に囲まれて仕事をしてきました。どの子もキラキラした笑顔を持っているはず。それなのに今、笑顔を奪われた子どもが少なくないという話をよく耳にします。

虐待、貧困などによる格差はもちろん、食べ物や環境の問題は、大人である私たちの責任だと思います。子どもを含めたすべての人が、平等に、平和に、安心して暮らせる社会を未来の子どもたちにも残していきたいと思います。

金井 えり子

私も  
応援します!



林泰義 まちづくりプランナー  
岡田佳子 ワーカーズ・コレクティブ  
子育て応援チームすてっぷ  
土谷雅美 生活クラブ生協東京理事長  
植田靖子 前区議会議員  
山木きょう子 元区議会議員

3 生活者ネットワークのルール  
世田谷・生活者ネットワークは、「ひとりにはない子育て・介護」をスローガンに、身近な地域から、市民とともに政治を変えていきます。

1 議員は交代制  
(ローテーション)

2 議員報酬は  
市民の政治  
活動資金に

3 選挙は  
カンパと  
ボランティアで

金井えり子さんを応援します!



三浦まり  
上智大学  
法学部教授

生活者ネットワークは長年にわたって地域に根ざした市民参加を実践してきました。私たちの社会の多様な声を議会に届けるには、地域に基盤のある信頼のおける人を送り出す必要があります。世田谷区がすべての人の人権を尊重し、一人ひとりに寄り添うようになるために、生活者ネットワークの候補者を応援します。



西崎光子  
東京・生活者  
ネットワーク代表/  
前都議会議員



大河原雅子  
衆議院議員/東京・  
生活者ネットワーク  
元都議会議員



保坂展人  
世田谷区長



中川李枝子  
児童文学作家

# 金井 えり子



世田谷・生活者ネットワーク

世田谷・生活者ネットワーク金井えり子の活動を紹介します。

世田谷・生活者ネットワーク  
政策委員



# 金井りえ子

世田谷・生活者ネットワーク

## の8つの提案

### 多様性を認めあうジェンダー 平等社会を実現する

- 性暴力・犯罪被害者などの相談・支援体制をつくる。
- 手話の普及と利用促進のための条例や障害者権利条例をつくる。
- ワーカーズ・コレクティブなど多様な働き方ができるように支援する。



キャプション①▶

### 情報公開を促進し、 議会を市民にひらく



- 公文書管理条例をつくり、区政の透明性を高める。
- 大事なことは市民が決めるために、自治基本条例、住民参加条例をつくる。



### 憲法を活かし、地域 から平和を発信する



- 「世田谷未来の平和館」を活用する。
- 「日本国憲法」を守り、平和人権教育をすすめる。

### 介護と医療の連携で、安心 の地域の暮らしをささえる



- 子ども・高齢者・障がい者など多世代の居場所として空き部屋を活用する。
- 家族介護が孤立しないように、ケアラー（介護者）支援条例をつくる。
- 生活全般を含めた相談支援の場所「暮らしの保健室」をつくる。

### 子どもの権利を尊重し、子どもが のびやかに育つ地域をつくる

- 区立の児童相談所を開設し、子どもの一時保護や里親への支援体制などを整備する。
- 貧困による格差をなくすため、学習支援や給食費などを無償化する。
- 男性の育児休暇取得を奨励し、男性の育児時間を増やす。



▲キャプション②

### 防災・減災対策は福祉 ・環境優先で!



- 液体ミルクの備蓄やプライバシーに配慮した避難所を各地域につくる。
- 雨水の地下浸透・循環利用など、グリーンインフラのまちづくりを実現する。
- 通学路は、子ども目線で点検し改善に活かす。

### 原発ゼロ、自然エネルギー 活用をすすめる



- 本庁舎などの公共施設の建て替えについては、環境性能を向上させる。
- プラスチックごみの焼却を減らし、分別と使用抑制をすすめる。
- 香害などを引き起こす化学物質対策を子ども基準で行う。



キャプション③▲

### 命の源である食と農を守る



- 地産地消をすすめ、都市農業と農地を守る。
- 障がい者の就労や活動の場として、農福連携を図る。
- 公共施設での石けん利用をすすめる。

